

ふくでんかい学園新聞

2009年度も早くも5ヶ月目。皆様、夏をいかがお過ごしですか？
法人としての学園新聞第2号はデザインも大幅に変えてみました。
最後までお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。

～子どもを花のように愛する日本～

福田会東京本院施設長 中村久美

酷暑の中、さまざまに咲き誇る大輪の花も少々元気がないように見えますが、皆様にはお元気でらっしゃることでしょう。

さて、時代は少々遡り、大正時代のことです。長い歴史をもつポーランドは、当時の列強であるロシア、オーストリア、プロシアの3国によって分割を余儀なくされていました。自分の国としての復活を期するための独立運動は、結果として多くの、最大で10万人もの政治犯としてのシベリア収容所送致となりました。

その後、第一次世界大戦により、独立を果たした故国に何とか子ども達だけでも帰りたいとの願いを、世界中が冷酷な政治判断から手を挙げない中、1通の嘆願書が日本政府に届き、わずか16日間で子ども達の受け入れを閣議決定しました。嘆願書の一部に「われわれは祖国から離れ離れになり、いまだ何の助けも得られません。このまま冬が来ると、子供達の命が奪われることは明らかです。子どもを花のように愛する日本が彼らの命を戦争の不幸から救ってくださるよう、私は切に願っています」とありました。

こうして、大正9年から総勢765人の子ども達が日本の土を踏み、375名は、当時日本赤十字に隣接していた福田会が子ども達の生活の場となりました。その後、誰一人死なせることなく、無事ポーランドに送り返したそうです。

それから89年を経て今年の6月15日、散歩の途中で福田会を見つけたと、ポーランド大使(ヤドヴィガ・マリア・ロドヴィッチ女史)が突然訪ねてくださり、私達を助けてくれた福田会が今もあるとは思わなかったと感激し、子ども達に何かしたいとおっしゃってくださいました。これから、子ども達を通じて新しい交流が始まる予定です。

「花のように子どもを愛する」なんと素晴らしい言葉でしょう。子どもはその存在だけで愛されるのです。理由は不要です。福田会に縁あって暮らす子ども達のすべてを花のように愛していきたいと思えます。

目次:

児童養護施設
福田会東京本院

2

グループホームを
新設しました

新任職員より一言

この4ヶ月…
こんな活動を
してみました

知的障害児施設 宮代学園

3

新しいスタッフの紹介

港特別支援学校の
夏祭りに参加しました

皆様のご厚意に感謝致します 4

わいわい祭りがやってくる

夏の福田会三景



リニューアルしたホームページは、子どもたちが日々目にしていく園内の「緑」・空の「青」をイメージカラーとしています。(オレンジは敷地内にある大銀杏の葉をイメージしています)

児童養護施設 福田会東京本院

2軒目のグループホームを立ち上げました！



4月に新しく祐天寺にグループホームを立ち上げました。大家さんのお名前(星さん)からホーム名をいただき、『スターハウス』と決定しました！

現在、高校生2名、中学生2名、小学生1名の計5名(男3、女2名)が生活しています。職員は安藤(寮長)、石田、栗原(新任)の3名です。

みんなよく食べ、よく笑い、よく話し、よく働き、よく寝る(笑)、元気いっぱいのグループホームです！これからもみんなで力を合わせて楽しい生活を築いていきたいと思っています。



新任職員より一言

～今年度も4月からフレッシュな仲間が加わりました～



スターハウス 栗原圭佑

はじめまして、栗原と申します。児童関係で働きたいと高校の時から思っていました。大学では社会福祉を勉強していて将来は社会福祉司の資格取得を目指しています。子ども達から頼られる存在になれたらと思います。

まだ入りたてで右も左もわかりませんが一生懸命頑張って成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。



ふたば寮 石野未奈

はじめまして。4月からふたば寮で働いています石野未奈と申します。

この4ヶ月は初めての事の連続であつという間でした。今後ものにぎやかに楽しく頑張っていきます。よろしくお願いします。



さつきかえで寮 戸村裕介

4月からさつきかえで寮の一員になりました戸村裕介です。子どもから、お笑い芸人のザブングル加藤に似ていると言われて、「悔しいですっ!」。子ども達の生活が希望に満ち、やさしさに包まれたものになるよう、力になれればと思っています。宜しくお願いします。

どうでもよい情報ですが、白米は頑張れば4合まで食べられます(食後1時間は身動き取れなくなります…)

この4ヶ月…こんな活動をしてきました

例えば…

『進級祝う会』 年度始めはお互いに進級・入学をお祝いしています。高校生が中心となって子ども・職員全員参加で行っています。

『園内バーベキュー』 園の庭で皆でバーベキュー。都心にありながら豊かな緑と土に恵まれていることもあり、開放的な時間になりました！

『日用品購入』 自分たちの生活で使うものを自分たちで選んでみよう！という企画。好みと好みがぶつかったり、譲り合いの姿が見られたり…

ほかにも大小取りそろえて園全体・各寮で日頃から様々な活動を行っています。多くの方々のお力添えもいただいています。引き続き色々なアイデアを形にし、子どもにとってよい生活が送れるように工夫していきます。

新しいスタッフの紹介

4月から宮代学園に新しいスタッフが入りましたので紹介します。

やまぶき寮(男子寮)に遠藤健斗(えんどうけんとう)さんと中間竜一(なかもりゆういち)さん
けやき寮(女子寮)に織田智恵子(おだちえこ)さんと佐藤節子(さとうせつこ)さん
介助員の菊川芳秀(きくかわよしひで)さんの5名です。

子ども達も新しい職員にすぐに慣れて毎日楽しく過ごしています。新しい仲間を迎え、これからはスタッフ一同頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



織田智恵子



遠藤健斗



菊川芳秀



佐藤節子



中間竜一

港特別支援学校の夏祭りに参加しました

今年も港特別支援学校の夏祭り(7月18日)に参加、出店してきました。お店は昨年同様「フランクフルト」です。2回目の参加です。学園の子どもたちを始め、卒園生、日ごろお世話になっている同級生や先生方、短期入所(ショートステイ)で利用してくださった方、地域の方にたくさん買っていただきました。昨年と同じ200本を売りました。ありがとうございました。

今年はフランクフルトの仕入れの都合で通常のものより1サイズ大きいものの2種類がありました。大きいサイズのフランクは数量が少なかったのでお祭りの終盤で出しました。(はじめに来てくださった方 スミマセン)お店には普通サイズと大きいフランクフルトが並びジャンケンゲームで勝ったら好きな方を選べるようにしたところ皆さん喜んでくれました。今年もまたたくさんの方と出会えてよかったです。

宮代学園のことが少しずつ地域に広まっ

ていけたらよいと思っています。来年も皆さんとの出会いを楽しみにしています。



皆様のご厚意に感謝致します

2009年1月～6月にご寄付頂いた方々(敬称略・順不同)

【寄付物品】

阿部正和、(株)NTTドコモ社会環境推進部、新居協子、観音院、リーマ、(株)信画堂、ウィローブルックスクール、遠山栄子、中村文雄、萩野昭子、中日新聞社、おやつカンパニー、宇津救命丸(株)、新田英雄、(株)チュチュアンナ、(株)ライト・エージェンシー会長武藤一彦、プリティッシュスクール、セカンドハーベスト、須崎市地域雇用創造協議会、ピーシーエー生命保険(株)、(有)岩瀬牧場、篠崎光正、和田光明、川名栄子、桑戸真二、小西健裕

【寄付金】

篠崎光正、パークレイズキャピタル アジア・リミテッド、桂木明夫、小林チヨ子

わいわい祭りがやってくる

来る8月23日(日)15時～17時に毎年恒例の福田会「わいわい祭り」を開催します。

今年度もボランティアさんやスターバックスコーヒーさんのご協力により、多数の模擬店を出店します。焼きそば・焼き鳥・フランク・ジャガバター・ソフトクリーム・Tシャツ染め・ゲームコーナー等、17の模擬店を予定しております。全ての模擬店を利用できるチケットを500円で販売していますので是非ご利用下さい。チケット販売により得た収益は子ども達の生活支援に還元させていただきます。

舞台発表ではマジックショーを始め、小学校低学年児童が中心となって繰り広げる「よさこいソーラン節」や幼児演舞の「崖上のポニョ」等を予定しています。本番に向

けて一生懸命練習しています。本番での活躍を是非ご覧下さい。

準備は万端です。あとは当日、晴れてくれる事を期待しています(笑)。

最後になりますが、福田会の祭りにご協力いただける皆様に、職員一同、心よりお礼申し上げます。

平成21年度わいわい祭り実行委員長

山田悠介

ホームページも随時更新中！

<http://www.fukudenkai.or.jp>

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-12

電話 03-3400-4009(福田会東京本院)／03-3407-3433(宮代学園)

Fax 03-3407-0478(両施設共通)

Email tokyohonin@fukudenkai.or.jp(福田会東京本院)

miyashiro@fukudenkai.or.jp(宮代学園)